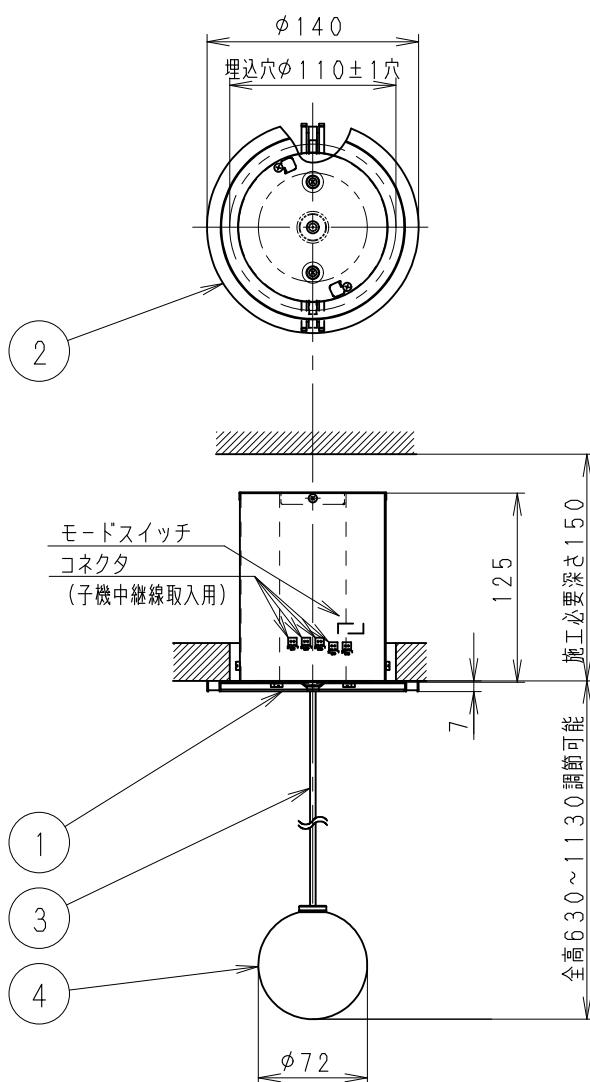


埋込穴寸法
Φ110±1



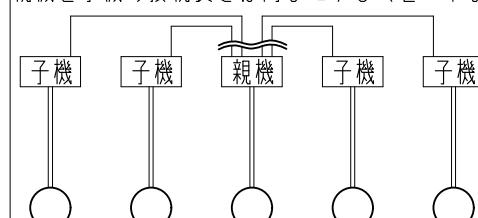
△安全に関するご注意

- ・一般屋内用器具です。
屋外や水気、湿気のある所では使用しないでください。
絶縁不良による感電の原因となります。
- ・天井埋め込み専用器具です。
補強のない天井には取り付けないでください。
器具質量と高さ調整操作に十分耐えるよう、
取付部の強度を確保してください。
不備がありますと器具落下の原因となります。
- ・多灯設置する場合、風などにより器具どうしが当たらないよう器具の間隔をあけてください。
- ・器具の揺れなどで壁に接触しないよう
壁の近くに取り付けないでください。
- ・調光器と組み合わせて使用しないでください。
火災の原因となります。

<使用上のご注意>

- ・LEDにはバラツキがあるため、同一品番商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- ・器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入る場合があります。

親機と子機の接続長さは同じにする (L=1000)



・ガラスとガラスは当たらない設定にしてください。

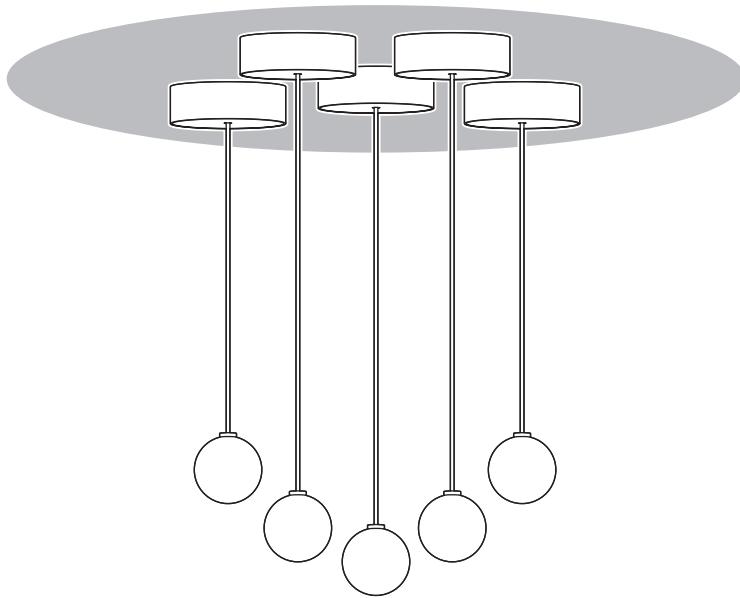
LEDの光束維持時間：40,000時間

フェード機能	消灯時 点灯時	1秒～20秒	特記事項
調光機能		0～100%	
光色		3000K	
定格値 (子機4台持続時)			品名
周波数	50/60 Hz		FEM (親機)
定格電圧	100 V		型番
定格電流	0.08 A		RKY12W1
消費電力	4 W		
器具質量	1.3 Kg		

*スマートフォン アプリのダウンロードにて
フェード機能・調光機能の調整ができます。

5				定格値 (子機4台持続時)	品名
4	セード	ソーダガラス	透明 (飛散膜処理)	周波数	
3	細線ケーブル	外径 (Φ2.7)	透 明	定格電圧	型番
2	取付板	SPCC (t0.8)	ホワイト塗装	定格電流	
1	カバー	SGCC (t1.0)	ホワイト塗装	消費電力	
部番	部品名	材 質	備 考	器具質量	

RKY02W1 JP



■もくじ

- ・本器具1台に、専用運動器具4台まで接続することができます。
- 専用運動器具品番 **RKY02W2 JP**
- ・品番末尾の「JP」は日本国内専用器具を表します。
- ・本器具の操作にはスマートフォン、またはタブレットが必要です。
本器具にスマートフォン・タブレットは付属しておりませんので
別途ご用意ください。

安全上のご注意	2
施工上のご注意	3
施工前のご準備	4
各部の名前	5
器具の施工方法	6
専用運動器具の施工方法	7
モードスイッチの設定	8

お客様へ

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず販売店、工事店にご依頼ください。
この説明書には器具の設定方法が記載されています。取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。



■安全上のご注意

!**警告**

●器具の施工は、説明書に従い確実に行う

取り付けに不備があると火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●器具の施工は、必ず電源を切ってから行う

感電によるけがの原因となります。

●器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電によるけがの原因となります。

●表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する

指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因となります。

●調光器と組み合わせて使用しない

調光機能付きスイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となります。

●次のような場所には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



- ・補強のない場所（ベニヤ板や石こうボードなど）
- ・傾斜した場所

（この器具は水平天井面吊り下げ専用です。）

●次のような場所では使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。



- ・自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近く
- ・病院内や医療用電気機器のある場所

!**注意**

●周囲温度は、5~35°Cで使用する

指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや耐用年限が短くなる原因となります。

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となります。

この器具は防湿・防雨型ではありません。

●多灯設置する場合、風などにより器具どうしが当たらないよう、器具の間隔をあけて取り付ける器具破損の原因となります。

●器具の揺れなどで壁に接触しないよう、

壁の近くに取り付けない

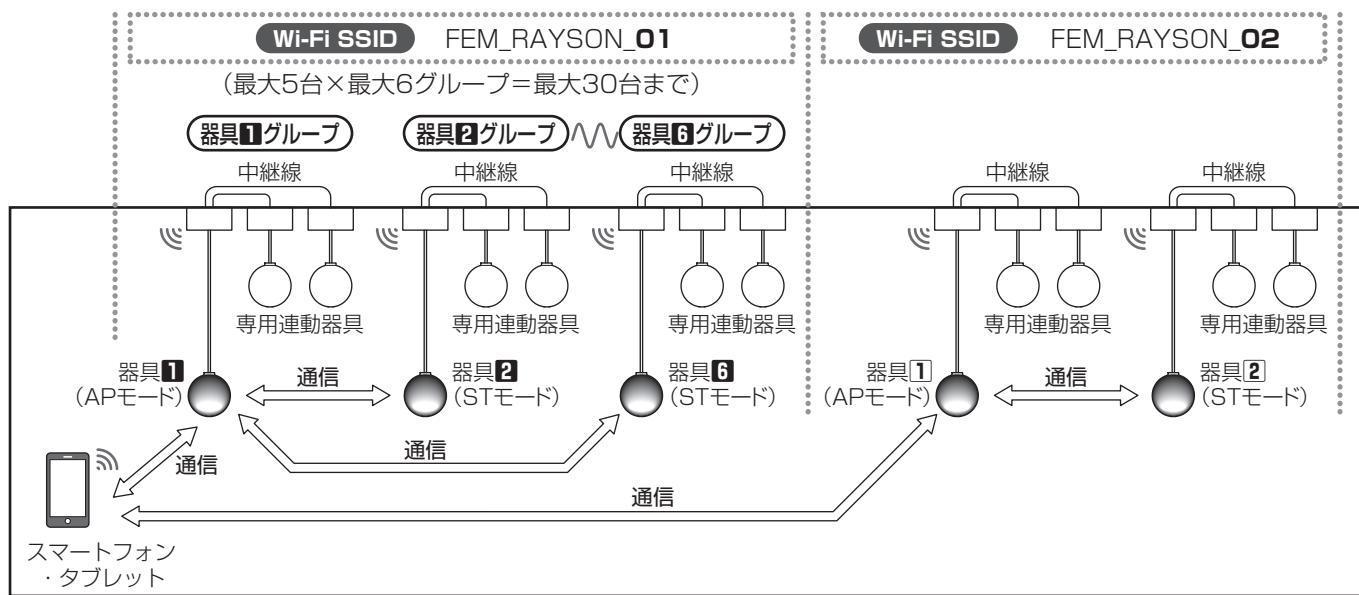
器具破損の原因となります。

■施工上のご注意

- この器具は Wi-Fi 機能を搭載しています。

同じ Wi-Fi SSID に設定された器具は無線で接続され、最大30台まで一括操作を行うことができます。
(Wi-Fi SSID は4つまで設定できます。)

＜接続例イメージ図＞ ※本図はイメージ図です。信号送受信部は器具の天井側にあります。



- ・1台の器具に、専用連動器具を4台まで接続することができます。(中継線接続)
- ・1台のAPモード器具に、STモード器具を5台まで接続することができます。(Wi-Fi接続)
(STモード器具、及び専用連動器具を単独で操作することはできません。)

*動作の詳細及び接続設定は、「モードスイッチの設定」(8ページ)をご参照ください。

- 器具と専用連動器具との接続は、専用連動器具に同梱の中継線で行ってください。

- ・器具1台に、専用連動器具4台まで接続することができます。
- ・専用連動器具単体では点灯しません。
- ・専用連動器具どうしを接続することはできません。

- 器具と専用連動器具の施工を行う場合、専用連動器具の施工を先に行ってください。

- 必ず壁スイッチを設けてご使用ください。(スイッチは器具の台数分を別途ご用意ください。)
通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。

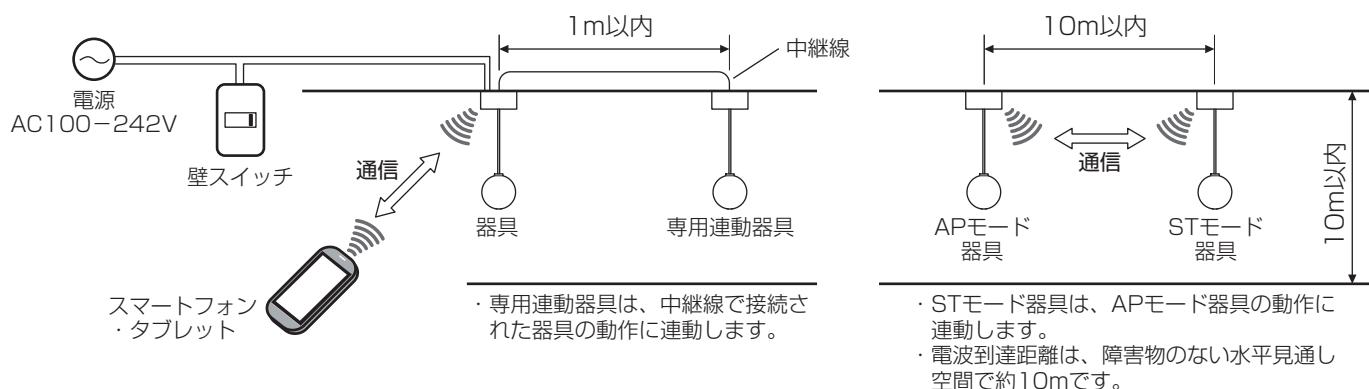
壁スイッチがないと、

- ・モードスイッチの設定(8ページ)ができません。
- ・点灯操作に不具合が生じた場合、リセットできません。
- ・スマートフォン・タブレットで消灯しても、待機時消費電力を消費しています。

- 電波到達距離は、障害物のない水平見通し空間で約10mです。

障害物や設置環境によっては、電波到達距離が短くなったり、電波が弱くなったりします。

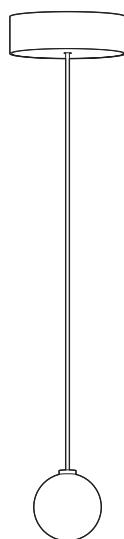
- ・信号送受信部は器具の天井側にあります。床面から10mまでの天井に取り付けてください。
- ・APモード器具とSTモード器具の間は10m以内とし、間に壁や障害物がない空間に取り付けてください。



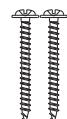
■施工前のご準備

- 施工前に内容物をご確認ください。

本器具 (RKY02W1) 同梱物



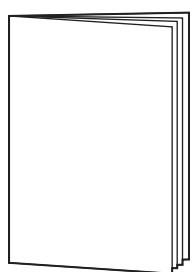
照明器具



木ネジ
(2本)

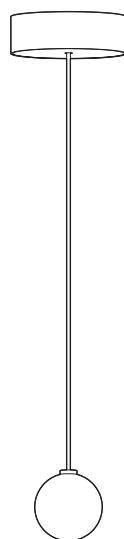


施工説明書
(本紙)

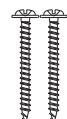


取扱説明書

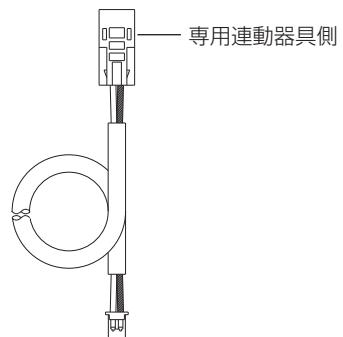
専用連動器具 (RKY02W2) 同梱物



照明器具



木ネジ
(2本)

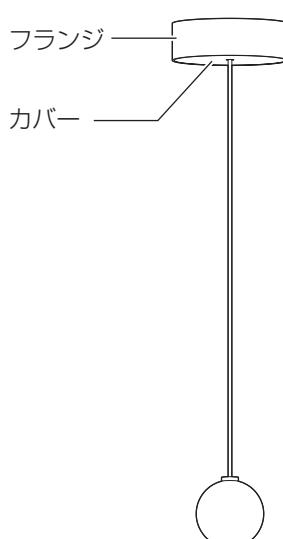


専用連動器具側

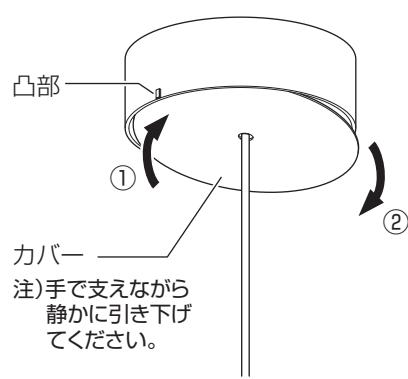
中継線

- フランジからカバーを取り外してください。

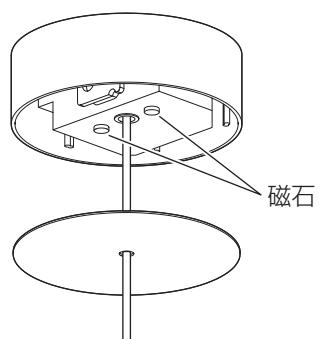
カバーの取り外しかた



- ①フランジの凸部を目印にし、カバーを内側に押し込む
- ②カバーを引き下げる



※カバーはフランジに近づけると磁石により固定されます。

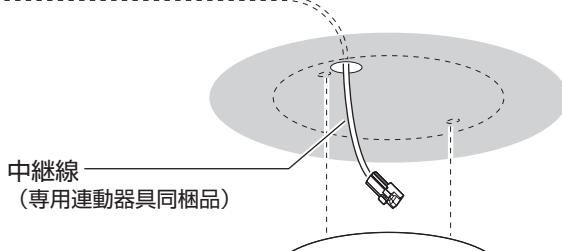
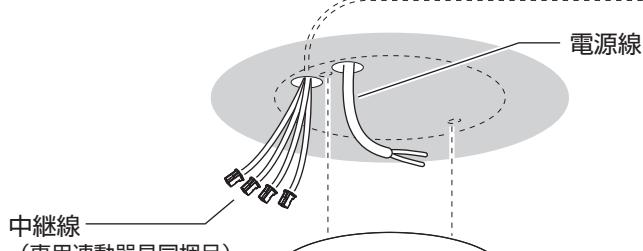
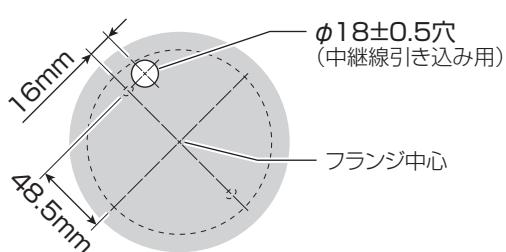
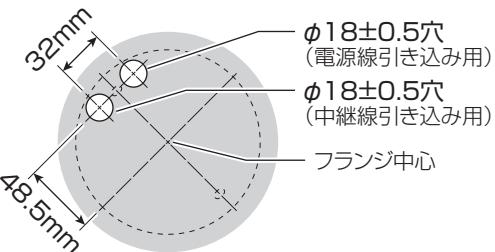
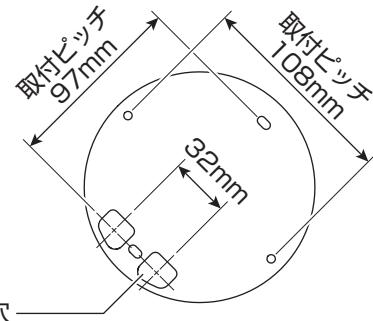
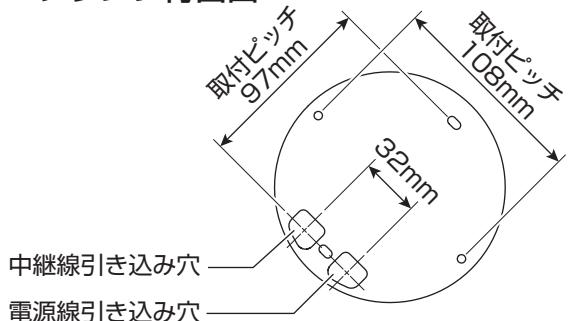


■各部の名前

本器具

専用運動器具

フランジ背面図



中継線
(専用運動器具同梱品)

※専用運動器具は4台
(中継線4本)まで
接続可。

フランジ

木ネジ
(2本)

カバー

コード

灯具
(LED)

フランジ内部

電源線引き込み穴

電源用コネクタ

(2個)

中継線引き込み穴

接続用コネクタ
(CN1~CN4)(4個)

モードスイッチ

コード押さえ
(5ヵ所)

コード張力止め

中継線引き込み穴

接続用コネクタ

結束バンド

コード張力
止め

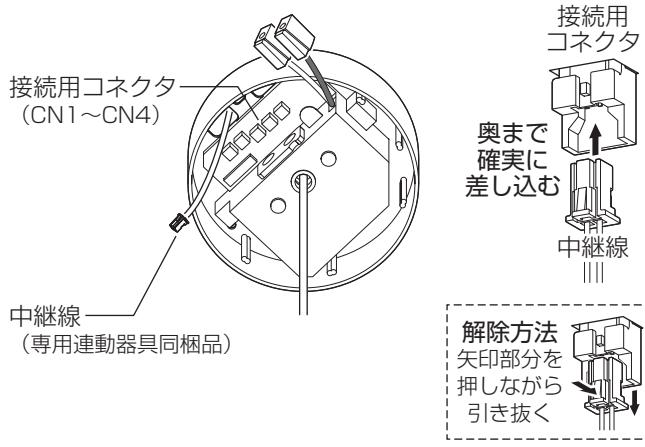
コード
押さえ
(5ヵ所)

■施工方法

- ・電源を切ってから行ってください
- ・専用運動器具がある場合、本器具の施工の前に、専用運動器具の施工を行ってください。(次ページ参照)

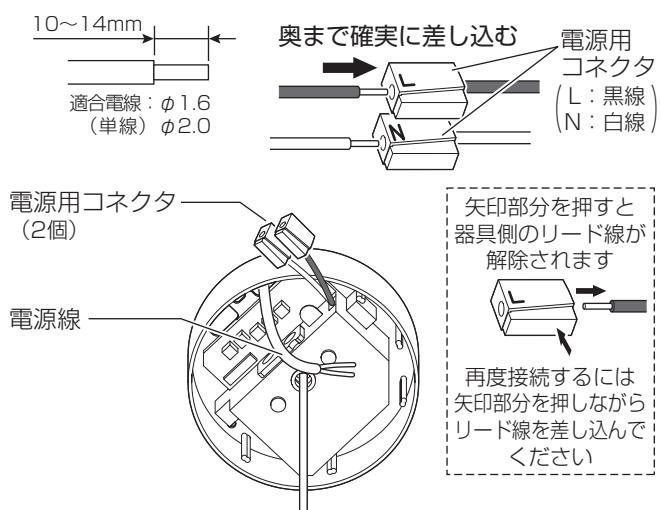
1 中継線を接続する

- ①フランジ内に、専用運動器具からの中継線を引き込む
- ②接続用コネクタに中継線を差し込む

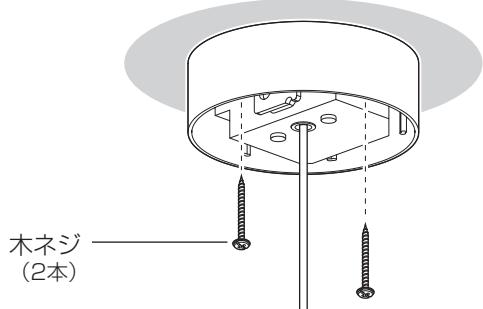


2 電源線を接続する

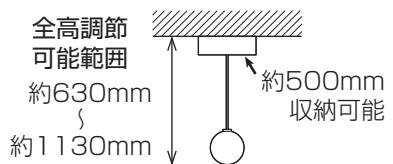
- ①フランジ内に電源線を引き込む
- ②電源用コネクタに、電源線を差し込む



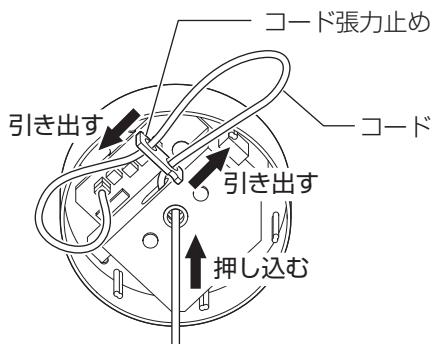
3 天井面に木ネジでフランジを取り付ける



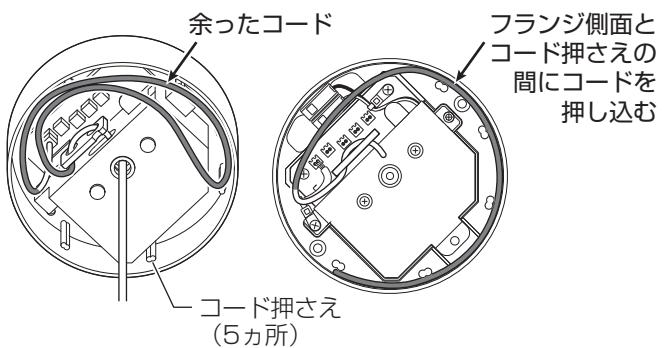
4 コード長さを調整する



- ①コードをフランジ内に押し込み、コード張力止めから余ったコードを引き出す



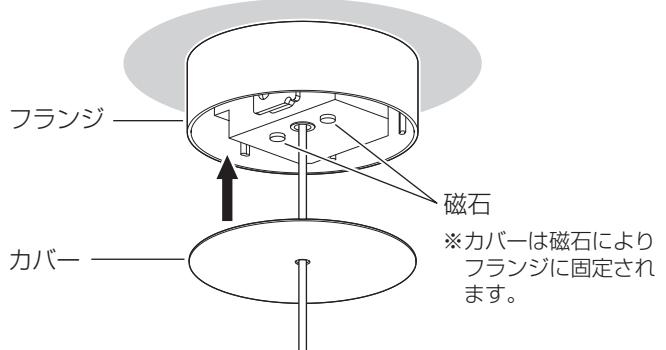
- ②余ったコードを下図のように処理する



5 モードスイッチの設定を行う

- ・8ページ「モードスイッチの設定」参照

6 フランジにカバーを取り付ける



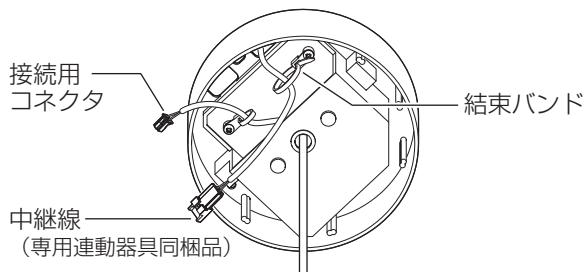
- ・カバーの取り外しは、4ページ「カバーの取り外しかた」参照

■専用連動器具の施工方法

- 専用連動器具がある場合、本器具の施工の前に、専用連動器具の施工を行ってください。

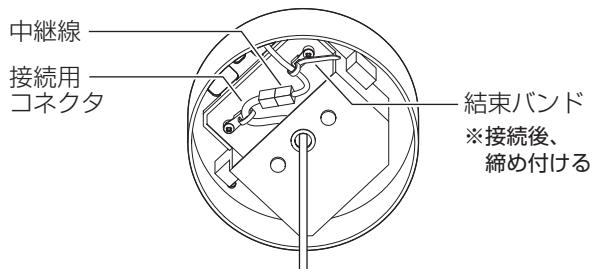
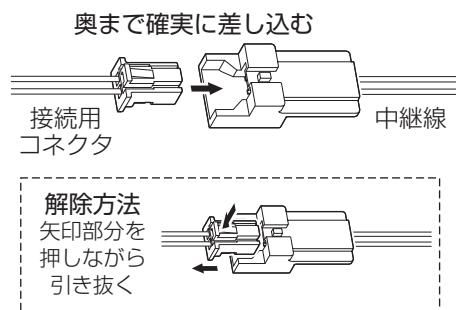
① フランジ内に中継線を引き込む

- 引き込み後、結束バンドに中継線を通す

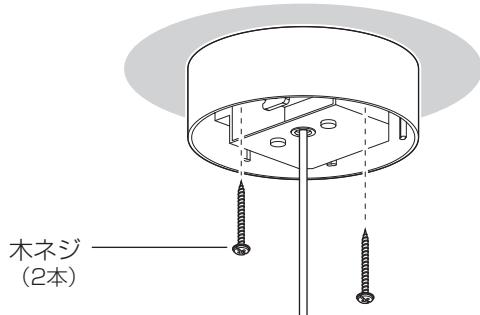


② 中継線を接続する

- 中継線と接続用コネクタを接続する
- 余った中継線を引き込み穴の外に戻し、結束バンドを締め付け中継線を固定する



③ 天井面に木ネジでフランジを取り付ける



④ コード長さを調整する

- 前ページ手順 ④ 参照

⑤ フランジにカバーを取り付ける

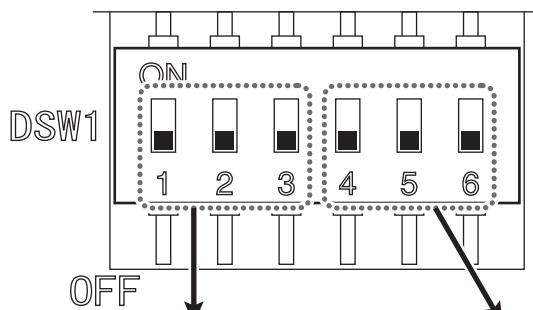
- 前ページ手順 ⑥ 参照

■モードスイッチの設定

- この器具は Wi-Fi 機能を搭載しています。
専用アプリケーションをダウンロードしたスマートフォン・タブレットで
点灯や調光操作が行えます。
- 専用アプリケーションで器具を操作するには、モードスイッチの
設定が必要です。
器具の使用の前に、モードスイッチの設定を行ってください。
- モードスイッチの設定は、必ず電源を切った状態で行ってください。

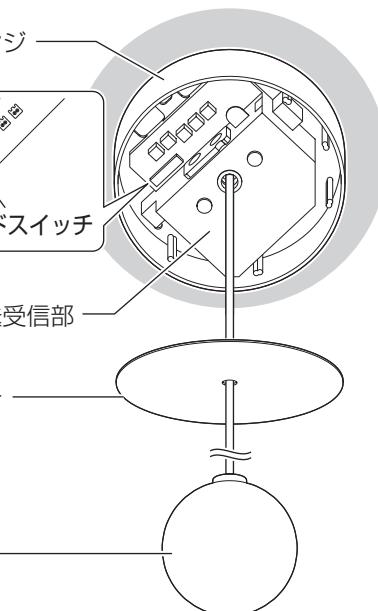
＜モードスイッチ＞

(工場出荷時、スイッチはすべてOFFになっています)



スイッチ1、2、3を
切り替えることで
複数器具の一括操作が
可能になります。
詳細は次ページ参照。

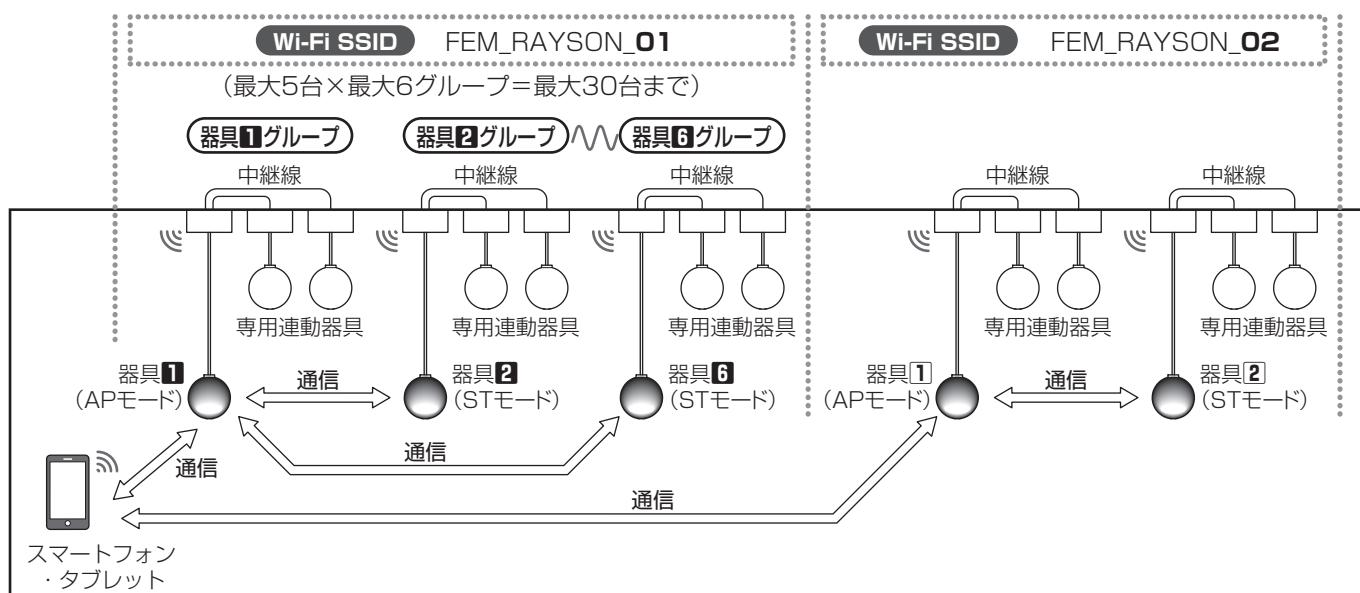
スイッチ4、5、6は
製造時に使用する箇所ですので、
すべてOFFのままにしてください。



(カバーの取り外し・取り付けは、
4ページ「カバーの取り外しかた」参照)

＜接続例イメージ図＞

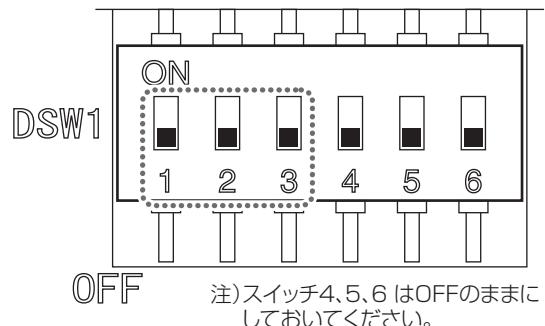
※本図はイメージ図です。信号送受信部は器具の天井側にあります。



- ・スマートフォン・タブレットは、APモード器具と通信します。
APモード器具から同じ Wi-Fi SSID のSTモード器具に信号が送られ、
専用アプリケーションで一括操作することができます。
- ・APモード/STモードの設定、Wi-Fi SSID の設定は、器具内のモードスイッチで行います。
詳細は次ページ参照。

モードスイッチ1、2、3を設定することにより、複数器具の一括操作が可能になります。
※設定した内容は必ず取扱説明書（4ページ）に記入してください。

スイッチ1	スイッチ1とスイッチ2のON/OFFの組み合わせでWi-Fi SSIDを設定します。
スイッチ2	
スイッチ3	Wi-Fiモードを切り替えます。



Wi-Fi SSID の設定

SSIDを4つまで設定できます。

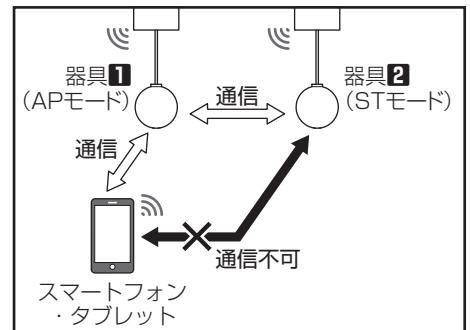
スイッチ1	スイッチ2	Wi-Fi SSID	Password
OFF	OFF	FEM_RAYSON_01 (工場出荷時)	00000000
ON	OFF	FEM_RAYSON_02	00000000
OFF	ON	FEM_RAYSON_03	00000000
ON	ON	FEM_RAYSON_04	00000000

- 器具を一括操作する場合、後述のAP（アクセスポイント）モードに設定した器具とST（ステーション）モードに設定した器具は、同じSSIDにしてください。
 - 一括操作を行わず、別々の器具をAPモードとして使用する場合、異なるWi-Fi SSIDにしてください。
- 同じWi-Fi SSIDに設定した場合、正常に通信することができなくなります。

Wi-Fi モード の設定

「APモード」と「STモード」があります。

スイッチ3	Wi-Fi モード設定
OFF	AP(アクセスポイント)モード (工場出荷時)
ON	ST(ステーション)モード



●AP(アクセスポイント)モード(工場出荷時)

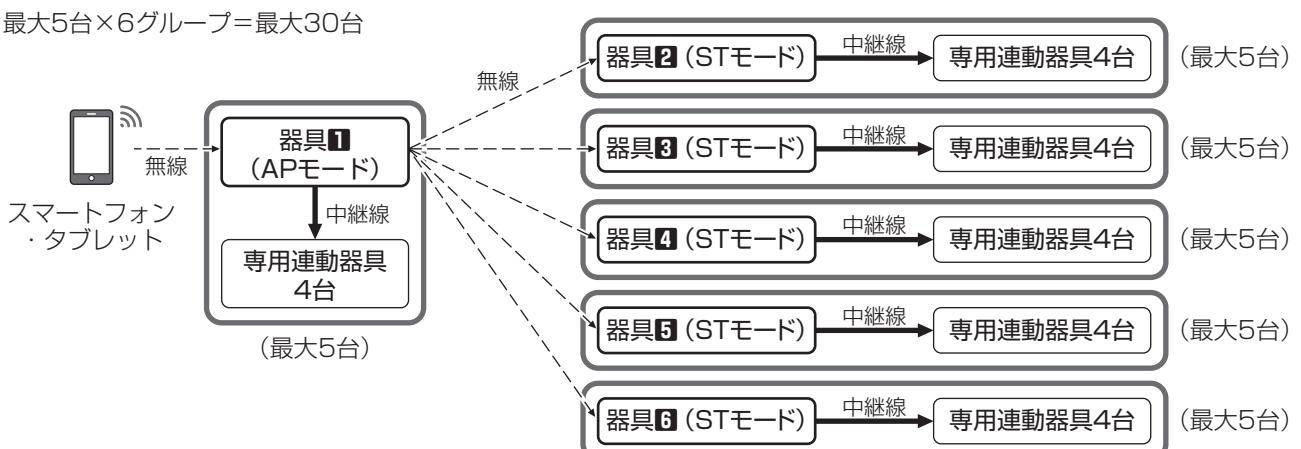
- APモードに設定された器具は、無線アクセスポイントとして、スマートフォン・タブレット、STモード器具と通信します。
- APモード器具1台につき、STモード器具を最大5台まで接続できます。

●ST(ステーション)モード

- STモードに設定された器具は、無線クライアントとして、APモード器具と通信します。
- (STモード器具は、スマートフォン・タブレットとは通信できません。)
- 器具が複数ある場合、1台をAPモード、残りをSTモードにすることで、複数台を一括操作することができます。

<同一SSID内の最大接続台数>

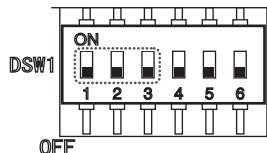
最大5台×6グループ=最大30台



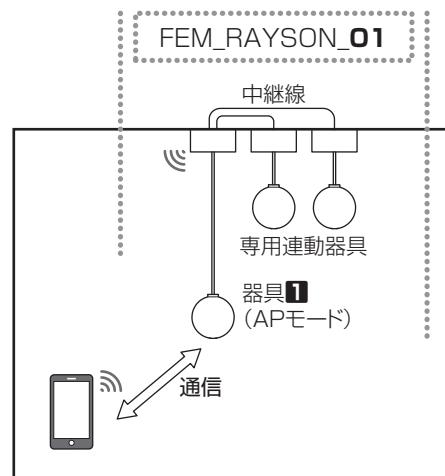
設定例 1 1台の器具のみ操作する場合

モードスイッチを以下の通りにします。

スイッチ 1 : OFF	FEM_RAYSON_01
スイッチ 2 : OFF	
スイッチ 3 : OFF	APモード



注)スイッチ4、5、6 は OFFのままにして おいてください。

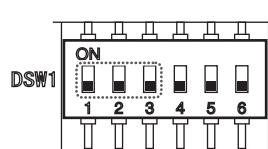


接続例 2 2台以上の器具を一括操作する場合

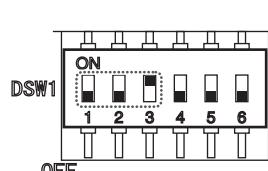
モードスイッチを以下の通りにします。

器具1	
スイッチ 1 : OFF	FEM_RAYSON_01
スイッチ 2 : OFF	
スイッチ 3 : OFF	APモード

器具2～6	
スイッチ 1 : OFF	FEM_RAYSON_01
スイッチ 2 : OFF	
スイッチ 3 : ON	STモード

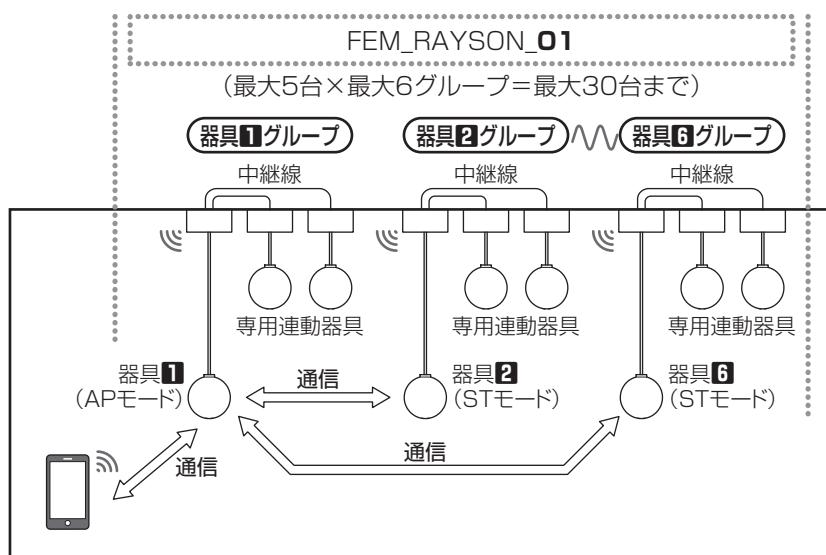


注)スイッチ4、5、6 は OFFのままにして おいてください。



注)スイッチ4、5、6 は OFFのままにして おいてください。

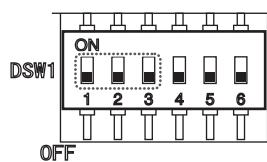
・ APモード器具1台につき、STモード器具を最大5台まで接続できます。



接続例3 3台の器具を個別に操作する場合

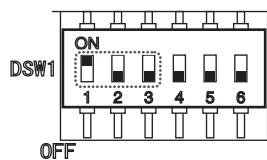
モードスイッチを以下の通りにします。

器具1	
スイッチ 1 : OFF	FEM_RAYSON_01
スイッチ 2 : OFF	
スイッチ 3 : OFF	APモード



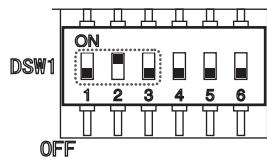
注)スイッチ4、5、6はOFFのままにしておいてください。

器具2	
スイッチ 1 : ON	FEM_RAYSON_02
スイッチ 2 : OFF	
スイッチ 3 : OFF	APモード

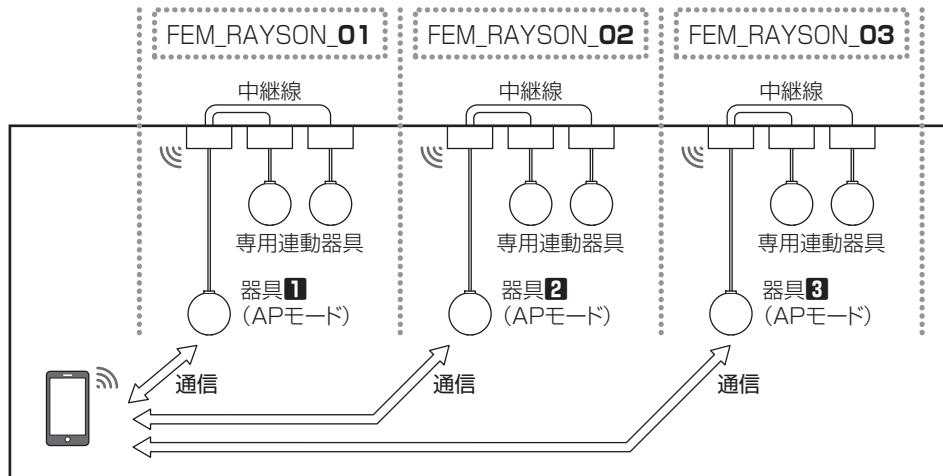


注)スイッチ4、5、6はOFFのままにしておいてください。

器具3	
スイッチ 1 : OFF	FEM_RAYSON_03
スイッチ 2 : ON	
スイッチ 3 : OFF	APモード



注)スイッチ4、5、6はOFFのままにしておいてください。



工事店様へ

- モードスイッチの設定内容は、取扱説明書4ページにご記入の上、お客様にお渡しください。
- 専用アプリケーションのダウンロード、および操作方法については、取扱説明書をご参照ください。
- この説明書には器具の設定方法が記載されています。この説明書はお客様に必ずお渡しください。

レイゾン株式会社
〒601-8121 京都市南区上鳥羽大物町7番地 京都南ビル
<https://rayson-kyoto.com/>

